

1987年（昭和62年）8月毎日新聞掲載

小学生が
寺で「修行」

吉井

多野郡吉井町多胡の龍源寺（渡辺啓司住職）はこのほど三日間、同寺で「第八回子供禅の集い」を開いた。参加した三十四人の子供たちは「夏休みの良い思い出になった」「座禅は自分だけの世界がつくれておもしろい」などうれしそうだった。

この集いは、夏休みの思い出づくりと、お寺の生活を経験することで、忙しい社会で忘れられがちな人間としての基本を思い出してもらおうと開かれてきた。

二泊三日の貴重な体験をしたのは高崎、多野の小学二年生から六年生の三十四人。三班に分かれて食事の用意、本堂・庭掃除を輪番で行う作務や座禅・法話、講話を聞く本来の修行の合間にはキャンプファイヤー、度胸だめし、花火大会、と楽しい企画が盛り込まれ、あっという間の三日間だった。「修行」を終えた子供たちは「来年もまた参加したい」の感想文を残していた。

験することで、忙しい社会で忘れられがちな人間としての基本を思い出してもらおうと開かれてきた。



小学生が寺で修行

吉井

多野郡吉井町多胡の龍源寺（渡辺啓司住職）このほど三日間、同寺で「第八回子供禅の集い」を開いた。参加した三十四人の子供たちは「夏休みの良い思い出になった」「座禅は自分だけの世界がつくれておもしろい」などうれしそうだった。

この集いは、夏休みの思い出づくりとお寺の生活を経験することで、忙しい社会で忘れられがちな人間としての基本を思い出してもらおうと開かれてきた。

二泊三日の貴重な体験をしたのは高崎、多野の小学二年生から六年生の三十四人。三班に分かれて食事の用意、本堂・庭掃除を輪番で行う作務や座禅・法話、講話を聞く本来の修行の合間にはキャンプファイヤー、度胸だめし、花火大会、と楽しい企画が盛り込まれ、あっという間の三日間だった。「修行」を終えた子供たちは「来年もまた参加したい」の感想文を残していた。